

# とみかのぎかい

TOMIKA TOWN COUNCIL

富加町議会だより



No. 196

2025.  
(令和7年)  
2月1日発行

冬

## 主 題 内 容

新年のごあいさつ	2	委員会報告	7
議会活動	3	町政を問う！一般質問	11
ピックアップ！議会活動	4	編集後記	19
第6回定例会	5	開かれた議会を目指して	20

## 年末夜警や出初式などで町消防団を激励！

町議会では、有事の際にはいち早く駆けつけ、火災予防活動、消火活動、地震や風水害等への対応活動などに従事し、町民の安心と安全を守る町消防団の活動を応援しています。



# 新年のごあいさつ

富加町議会議員 佐曾利 敏



新年あけましておめでとうございます。

町民の皆様には、それぞれにご家族お揃いで令和7年の新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。この一年が輝かしい希望のある年になることをご祈念申し上げます。

さて、昨年の夏季においては猛暑日が続き、令和に入り年々猛暑日の連続日数も更新されるなかで、猛暑日が過去最多となり歴代最長記録が更新され、また、最も遅い猛暑日も記録が更新されました。この高温期における活動の制限など、熱中症対策が益々重要になってきており、生活様式の対応を考えなければならない時代となりました。地球温暖化が進行しているものと思われまます。世界各国が集う国連気候変動枠組条約締約国会議においても、二酸化炭素の排出削減への取り組みが掲げられていますが各国の思惑があり、なかなか進展しない状況であります。

そして、物価上昇により一年を通して何回も商品の値上げが繰り返され、国民生活が脅かされることとなった一方で、給与収入の増加については物価上昇に見合っていない現状のため、国民の生活を圧迫している状態であります。

12月の臨時国会に於いて、今年度の経済対策事業ベースで39兆円規模の補正予算が成立し国民生活の向上が期待されることになりました。

さて、町においては、ここ数年間で子育て政策や定住政策の充実を図り、出産手当金、とみかこども園の3才以上児の保育料の無償化及び給食費の無償化、未満児へのおむつ配布等々のサービス向上により移住定住が進んでおり、特

に子どもの人数が増加しております。若い夫婦世帯では所得の増大を図るため共働きの形態が増え、とみかこども園に未満児を託される家庭が増加しています。とみかこども園全体もそうではありますが、特に未満児への対応が重点課題となっております。そのため、今後、とみかこども園を取り巻く環境整備については、しっかりと時間をかけて協議検討することが重要であると考えております。

他にも職員の働き方改革、防災対策、史跡夕田墳墓群の整備計画、インフラ整備、公共施設の修繕整備や統合、高齢者の見守りサービス向上など高齢者福祉の充実、ふるさと納税増大対応等々課題は山積していますが、今後も宅地化が進み住宅が増加する見込みですので、現段階では、子育て支援が優先課題であると考えております。

議会では、町民の皆様からのご意見を聞き、議会と町が常に前向きに協議検討し、そして議論をしながら、予算の可能な限り町民の福祉向上と町政の発展に尽力できたらと考えております。

そして、常に住んでいて良かったと思えるまちづくりを目指していきます。議会に対するご意見がありましたら、私達、議員に届けていただきますように申し添えます。

今後とも議会活動にご理解とご支援をよろしくお願い申し上げます。新年のご挨拶といたします。

(※この挨拶文は12月定例会閉会とともに執筆したものです。)

# 議 会 活 動

10月～12月

町民の皆様の  
より良い生活のために  
活動しています

## 10月

- |     |                            |     |                                |
|-----|----------------------------|-----|--------------------------------|
| 5日  | とみかこども園運動会                 | 23日 | 町指定管理者選定委員会                    |
| 6日  | 町誕生70周年記念式典                |     | 町国民健康保険運営協議会                   |
| 8日  | 岐阜県町村議会議長会総会<br>／正副議長研修会   | 24日 | 町介護保険等運営協議会                    |
| 10日 | 町議会広報委員会                   | 26日 | かもカモおやつマルシェ                    |
| 11日 | 双葉中学校体育祭                   |     | 七宗町合併70周年記念式典                  |
| 12日 | 富加小学校運動会                   | 28日 | 学校訪問（こども園、りんご保育園、小・中学校）        |
| 14日 | 「清流の国」ぎふ文化祭開会式             | 27日 | とみかクリーン作戦                      |
| 20日 | 「清流の国」ぎふ文化祭富加町歴史<br>シンポジウム | 31日 | 可茂地区グラウンドゴルフ大会<br>定期監査（～11月6日） |
| 21日 | 例月出納検査                     |     |                                |

## 11月

- |     |                                      |
|-----|--------------------------------------|
| 3日  | 町やわらかバレーボール大会<br>美濃加茂市市制施行70周年記念式典   |
| 7日  | 議会運営委員会・全員協議会<br>可茂町村議会議長会／正副議長交流会   |
| 8日  | 坂祝町・富加町議会議員交流会                       |
| 9日  | 富加小学校50周年記念式典                        |
| 12日 | 町空家等対策協議会<br>文教厚生委員会視察研修（～13日）       |
| 13日 | 町村議会議長全国大会（～14日）                     |
| 16日 | 町民まつり（～17日）                          |
| 20日 | 例月出納検査<br>可茂地域市町村議会議員研修              |
| 28日 | とみか町民ゴルフ大会                           |
| 29日 | 議会運営委員会<br>双葉中学校合唱祭<br>可茂町村議会議員情報交換会 |



町村議会議長全国大会

## 12月

- |     |                                 |
|-----|---------------------------------|
| 2日  | 県町村議会議長会                        |
| 5日  | 議会第6回定例会 開会（～13日）<br>議員全員協議会    |
| 9日  | 総務産業建設常任委員会<br>社会教育委員会・公民館運営審議会 |
| 10日 | 文教厚生常任委員会                       |
| 12日 | 議員全員協議会                         |
| 13日 | 議会第6回定例会（一般質問）閉会                |
| 15日 | 中濃地区剣道大会                        |
| 18日 | 史跡夕田墳墓群保存活用計画策定委員会              |
| 20日 | 町交通安全対策協議会                      |
| 23日 | 可茂地域一部事務組合議会                    |
| 24日 | 例月出納検査                          |
| 26日 | 町消防団年末夜警激励会                     |



中濃地区剣道大会

# PICK UP ▲ ピックアップ!! 議会活動 活動の一部を紹介し

活動の一部を紹介し  
ます

## 10月6日 町誕生70周年記念式典

町誕生70周年記念式典がタウンホールとみかで行われ、全員で参加しました。富加町の歴史を振り返るとともに今後の発展を願い、佐曾利議長が挨拶をしました。



## 11月20日 可茂地域市町村議会議員研修会

可茂地域市町村議会議長会主催の議員研修「科学的根拠に基づく不登校対策、いじめ予防」を受講しました。受講することで、子どもを取り巻く状況や見識を深めることが出来ました。



## 12月2日 県町村議会議長会 ～ 佐曾利 敏 議長が自治功労者特別表彰を受章 ～

多年にわたり議員として活躍した功績を称えられ、佐曾利 敏 議長が県町村議会議長会から自治功労者特別表彰を受けました。佐曾利議長は平成11年に富加町議会議員に初当選、現在は7期目となります。



## 10月28日 学校訪問

文教厚生常任委員会では、とみかこども園、りんご保育園、富加小学校、双葉中学校を訪問しました。訪問では保育や授業を見学し、職員の方との懇談では活動方針や日々の取り組みなどについて意見の交換をしました。実際に現場を見ることによって、より細かな気付きを得て、教育・保育現場の改善や提案につなげることができればと考えています。文教厚生常任委員 林委員長、森副委員長、福田議員、井戸議員／佐曾利議長 帯同 坂井教育長、亀山教育課長、野村こども課長、吉田議会事務局長



令和6年

第6回

# 定例会

## とみか元気米配布事業費、 課の配置換えに伴う庁舎改修工事費、 障がい者福祉の扶助費などを含む補正を可決

令和6年12月5日から12月定例会が開催され、令和6年度富加町一般会計補正予算（第6号）などの議案を議決しました。

### 議会の動き

12月定例会では、「令和6年度富加町一般会計補正予算（第5号）」の専決処分の承認や、「富加町国民健康保険税条例の一部を改正する条例」、「富加町奨学資金貸与条例の一部を改正する条例」の条例案件2件、「富加町公の施設における指定管理者の指定」3件、予算案件3件が町長から提案され、これらの議案について原案のとおり可決しました。その他、全員協議会では富加町水道事業会計及び富加町下水道事業会計から令和6年度上半期の事業内容について報告がありました。

会期は9日間 開会12月5日 閉会12月13日

12月5日(木)	本会議 開会、議案上程・説明 全員協議会 議案の詳細説明、質疑等
12月9日(月)	総務産業建設常任委員会
12月10日(火)	文教厚生常任委員会
12月12日(木)	全員協議会 議案の詳細説明、質疑等
12月13日(金)	本会議 一般質問、質疑、討論、採決、閉会

### 専決処分

令和6年度  
一般会計補正予算(第5号)

補正額

821万7千円

総額

36億1,830万3千円



**ポイント** 衆議院議員選挙事務経費512万7千円、とみか元気米配布事業309万円の予算を専決処分したものの財源は国からの交付金と財政調整基金が充てられました。（令和6年10月3日専決）

#### 「専決処分」とは？

町長が予算や条例などを議会の議決を経ずに、自ら決めることです。緊急を要するなどやむを得ない場合に決定できることが、地方自治法で定められています。

### 条例の一部改正

#### 富加町国民健康保険税条例の一部改正

**ポイント** 国保事業費納付金の財源確保及び岐阜県国民健康保険運営方針が示す将来的な保険税の統一化に向け、令和7年度分の保険税算定から所得割額等の税率を見直すための改正。

#### 富加町奨学資金貸与条例の一部改正

**ポイント** 意欲ある学生の学びを更に支援するとともに、町への定住を促す観点から、奨学資金の返還の免除について、返還年賦額の一部を免除（規則で2分の1と規定する）する規定を加えるための改正。



## その他

### 富加町公の施設における指定管理者の指定

**ポイント** 介護予防拠点施設ふれあいサロンどうだん、富加町児童センター、道の駅半布里の郷とみかについて、それぞれ令和7年度から令和11年度まで（5年間）の指定管理者を指定するもの。



## 補正予算

### 令和6年度 一般会計補正予算(第6号)

補正額 5,855万6千円 総額 36億7,685万9千円

**ポイント** 課の配置換えに伴う庁舎改修工事500万円、新築住宅建設に係る定住促進奨励金500万円、障がい者福祉の扶助費3,425万円、乳幼児等の医療費に係る福祉医療費315万円、住宅用新エネルギーシステム等設置事業補助金110万円等が追加されました。財源は町税の他、国の負担金等が充てられました。  
また、債務負担行為補正では指定管理者の指定に伴う管理委託するための項目の追加及び、町長車購入費の廃止がされました。



### 令和6年度 国民健康保険 特別会計補正予算(第2号)

補正額 312万円 総額 6億4,161万8千円

**ポイント** 令和5年度保険給付費等交付金（特定健診等普通交付金）等の精算に伴い、償還金を追加。財源は財政調整基金繰入金が充てられました。

### 令和6年度 介護保険 特別会計補正予算(第2号)

補正額 22万7千円 総額 6億4,630万円

**ポイント** 令和元年度からの保険給付費及び地域支援事業費の額の再確定による精算のための国県への返還金等の歳入・歳出を追加するもの。財源は国県の負担金等が充てられました。

## 審議の結果

### 令和6年第6回富加町議会定例会

件名	結果	賛成	反対	林由香里	森利和	酒井一弘	山田直行	木村康夫	福田定道	井戸亨	佐管利敏
承認第11号 専決処分の承認を求めることについて 令和6年度加茂郡富加町一般会計補正予算(第5号)	承認	7	0	○	○	○	○	○	○	○	
議案第40号 富加町国民健康保険税条例の一部を改正する条例について	原案可決	7	0	○	○	○	○	○	○	○	
議案第41号 富加町奨学資金貸与条例の一部を改正する条例について	原案可決	6	1	○	○	○	○	×	○	○	
議案第42号 富加町公の施設における指定管理者の指定について	原案可決	7	0	○	○	○	○	○	○	○	議長
議案第43号 富加町公の施設における指定管理者の指定について	原案可決	7	0	○	○	○	○	○	○	○	
議案第44号 富加町公の施設における指定管理者の指定について	原案可決	7	0	○	○	○	○	○	○	○	
議案第45号 令和6年度加茂郡富加町一般会計補正予算(第6号)	原案可決	7	0	○	○	○	○	○	○	○	
議案第46号 令和6年度加茂郡富加町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	原案可決	7	0	○	○	○	○	○	○	○	
議案第47号 令和6年度加茂郡富加町介護保険特別会計補正予算(第2号)	原案可決	7	0	○	○	○	○	○	○	○	

○賛成 ×反対 ※議長は採決に加わりません。

# 委員会報告

## 総務産業建設常任委員会

衆議院議員選挙事務経費、とみか元気米配布事業に伴う821万7千円の補正予算専決処分、富加町公の施設における指定管理者の指定、課の配置換えに伴う庁舎改修工事500万円、住宅用新エネルギーシステム等設置事業補助金110万円、富加町公の施設における指定管理者の指定に伴う債務負担行為の追加などを含む一般会計補正予算案などを可決すべきものと決定。

委員長／山田議員、副委員長／酒井議員、委員／木村議員、佐曾利議員

総務産業建設常任委員会は、12月9日に会議を開き、所管する予算案件のほか、富加町公の施設における指定管理者の指定について審議を行い、また、富加町水道事業会計及び富加町下水道事業会計から令和6年度上半期の事業内容についての報告を受けました。

### 専決処分の承認を求めることについて

(令和6年度一般会計補正予算(第5号)について)

衆議院議員選挙事務経費512万7千円、とみか元気米配布事業309万円などの説明があり、質疑を行いました。元気米配布事業は9月定例会にて委員会から提案したものであり単費による事業となるが、食育や子ども支援、お米を食べる文化を守るなどの観点から、来年度の事業実施については財源が課題となるが検討する必要があるなどの意見がありました。

### 富加町公の施設における指定管理者の指定について

(「介護予防拠点施設ふれあいサロンどうだん」、「富加町児童センター」、「道の駅半布里の郷とみか」の各施設について、令和7年度から令和11年度まで(5年間)の指定管理者を指定するもの。)

富加町公の施設における指定管理者の指定について、各施設についての選定の経緯や事業の見込みなどの説明を求める質疑、また今後の展開の説明を求める質疑を行いました。

特に、道の駅については、利用者が増えるように事業が改善されることを期待する意見がありました。

### 令和6年度一般会計補正予算(第6号)について

総務課関係では、町長車の購入中止に係る減額429千円、課の配置換えに伴う庁舎改修工事500万円等、企画課関係では、新築住宅が増える見込みのため定住促進奨励金500万円の他、各財源等について説明があり、質疑を行いました。

産業環境課関係では、申請件数増による住宅用太陽光発電の設置費の一部を補助する住宅用新エネルギーシステム等設置事業補助金110万円等の説明があり、質疑を行いました。

建設課関係では、川浦川左岸線など認定路線が増加したことに伴う道路台帳修正委託業務53万3千円、堤防除草などの草刈業務委託21万7千円等の説明があり、質疑を行いました。

債務負担行為については、指定管理者の指定に伴う項目の追加、町長車の購入中止に係る公用車購入費の廃止についての意見がありました。また、教育課及びこども課が2階から1階に配置換えされることについて、子どもの待機スペースの有無や利用者の利便性、また必要性について活発な質疑がありました。

### その他

水道事業会計及び下水道事業会計より、令和6年度上半期の事業報告を受けました。

以上、慎重な審議の結果、所管する案件は原案のとおり可決すべきものと決定しました。

## 文教厚生常任委員会

障がい者サービスの利用増による扶助費3,425万円、乳幼児等医療費の増加等による福祉医療費315万円、町外の教育・保育施設等を利用する場合の給付費477万3千円などを含む一般会計補正予算案、国民健康保険特別会計補正予算案、介護保険特別会計補正予算案などを可決すべきものと決定。

委員長／林議員、副委員長／森議員、委員／福田議員、井戸議員

文教厚生常任委員会は、12月10日に会議を開き、所管する条例や予算案件等について審議を行いました。

### 町条例の一部改正について

#### ①富加町国民健康保険税条例の一部を改正する条例について

(国保事業費納付金の財源確保及び岐阜県国民健康保険運営方針が示す将来的な保険税の統一化に向け、令和7年度分の保険税算定から所得割額等の税率を見直すもの)

保険税の統一後の基金の取り扱いについての説明を求める質疑を行いました。

#### ②富加町奨学資金貸与条例の一部を改正する条例について

(意欲ある学生の学びを更に支援するとともに、富加町での定住を促す観点から、奨学資金の返還の免除について、返還年賦額の一部を免除(規則で2分の1と規定する)する規定を加えるもの)

富加町奨学資金貸与条例の一部を改正することについての説明があり、奨学金を借りる際の保証人の必要性、貸与でなく給付にできないかなどの活発な質疑を行いました。段階的な措置としての今回の改正であり、借り手の方の負担を少なくするための改正であるとして説明がありました。

### 令和6年度一般会計補正予算(第6号)、国民健康保険特別会計補正予算(第2号)、介護保険特別会計補正予算(第2号)について

住民課関係では、歳入として法人数の増加による固定資産税(償却資産)の増収、国民健康保険特別会計は令和5年度国民健康保険給付費等交付金(特定健診等普通交付金)等の精算に伴い、償還金を31万2千円補正する説明がありました。

福祉保健課関係では、歳入として障がい者自立支援給付費・障がい者医療費の国県負担金の追加交付等2,626万8千円、歳出として障がい者サービスの利用増による扶助費3,425万円、乳幼児等医療費の増加等による福祉医療費315万円等の説明を受けました。また、介護保険特別会計は令和元年度からの保険給付費及び地域支援事業費の額の再確定による精算のための国県への返還金22万7千円等について説明を受け、質疑を行いました。

教育課関係では、タウンホールとみかの燃料費108万5千円、修繕費63万円などの説明がありました。

子ども課関係では、こども園のダストボックス購入費20万9千円、町外の教育・保育施設等を利用する場合の給付費477万3千円、こども園の増室に係る備品154万円等の説明がありました。また、未満児の人数が予想以上に増えていることについて、希望があった場合の受け皿として不足している施設を町で整備していく必要があるなどの活発な質疑を行いました。

以上、慎重な審議の結果、所管する案件は原案のとおり可決すべきものと決定しました。



**目的** 富加町夕田墳墓群国史跡指定に伴い町では整備計画を策定する必要があるため、同様に国指定史跡となった古墳や史跡を訪ね、整備の方法、その財源、保存と活用の実践、ふるさと教育への活用など、現地を視察しながら、わが町の歴史的遺産をどう生かしていくかを考察するための参考とするため。

**日程** 令和6年11月12日(火)～13日(水)

- 視察先と視察項目**
- ① 奈良県奈良市：東大寺正倉院  
・「半布里戸籍」の変遷と保存について
  - ② 奈良県磯城郡田原本町：唐古・鍵考古学ミュージアム、唐古・鍵遺跡史跡公園  
・「国史跡指定」後の史跡ミュージアムの整備について  
・「史跡公園」での史跡の見せ方、活用方法について
  - ③ 奈良県高市郡明日香村：石神遺跡（跡）・牽牛子塚古墳・越塚御門古墳  
・「国一評一五十戸」制を示す日本最古の木簡（現在の富加町大山の記載有）について  
・明日香村が行った「国史跡指定」の古墳の整備・活用について
  - ④ 奈良県橿原市：新沢千塚古墳群公園  
・自然公園としての史跡公園の整備と活用、維持管理について

**出席者** 文教厚生常任委員会委員：林 由香里、森 利和、福田 定道、井戸 亨  
帯同／渡邊町長、亀山教育課長、島田文化財専門官、吉田議会事務局長

**報告者** 林 由香里 文教厚生常任委員長

文教厚生常任委員会では、視察研修の目的をより焦点化し、町政に役立てるものにしたいたいとの思いから、目的を「国史跡指定後の文化財の保護と活用」に一本化し視察先を選定しました。奈良県は町とは文化財の規模の違う場所ですが、「町村独自での整備」「自然と調和した整備」「市町村による活用の活動」を学べる施設を選び、夕田墳墓群が国史跡指定を受けた後を視野に入れ、町でもできることを念頭に、視察を行いました。

唐古・鍵遺跡では、ミュージアムや史跡公園での史跡資料の見せ方や活用の仕方を視察し、特に当時の器具の作り方の展示や祭りの衣装や様子の再現、一見ただの公園なのに、柱の復元跡に公園内で貸与されるipadを使用すると、当時の建物やその内部がVRで映し出される最新技術での見せ方が大変参考になりました。

牽牛子塚古墳・越塚御門古墳では、保護と観光活用を一体化した古墳の整備の方法（古墳の形でありながらシェルターでもある外観の復元）や、古墳内部でのシアターを視察し、またガイド養成など、インバウンド需要も見据えた今後の活用への方向性を考えることができ、同時に今すぐ町でもできそうな、ふるさと学習やグッズの作成のヒントもいただきました。

新沢千塚古墳群公園は、自然を生かしたまま400基もの古墳群を公園として整備し、民間の力も借りて施設を運営し、市民がいつも身近に利用する公園となっていることが印象的でした。自然公園としての整備も参考になりましたが、それ以上に、これからどう活用していこうかと職員の方がわくわくしているのが良く伝わりました。（ふるさと学習、イベントでの利用、視覚障がい者団体の受け入れ等）市民、職員が一緒になって楽しんでいくことが文化財保護の一番大事なことなのかもしれません。

「整備と活用は常に両輪で考えなくてはいけない」「奈良の住民は、歴史史跡に誇りもあり、理解もしている地盤がある。」とも言われました。町でも、町民にその価値を知ってもらい、理解してもらうことが大切であることを改めて実感すると同時に、まず、整備ありきでなく、常に活用も考えながらやっていくこと、今年度策定する保存活用計画も何度も振り返りながら、町民皆さんの声も聞きながら、整備をしていくことが肝要と考えています。

また、「半布里戸籍」や「国一評一五十戸」制を示す日本最古の木簡の発見地や保存地を現地で視察できたことも、改めて町の歴史的遺産の価値の高さを認識し、議員や町長、職員も皆で同じ方向を見て考える良い機会になったと思っています。

詳しい報告は町ホームページでご覧いただけます。詳しくはこちら→



文教厚生常任委員会視察研修のようす

①奈良市：東大寺正倉院



②田原本町：唐古・鍵跡遺跡公園



③明日香村：牽牛子塚古墳・越塚御門古墳



④橿原市：新沢千塚古墳群公園



# 町政を問う! 一般質問

一般質問は、議員が町政全般について現状や方針を問うものです。自分の住む町を「どうにかしたい」、「より良くしたい」という想いで議論を行っています。掲載の内容は、質問及び答弁を要約したものです。紙面の都合で一部質問のみの掲載となっています。熱い質問の詳細は、議会録画映像をご覧ください。



QRコードからは議会録画映像をご覧ください。  
※映像の公開には、一定の期間を要することがあります。  
「一括」又は「一問一答」から質問方式を選択し、持ち時間60分以内で議長の許可を得て質問します。



## 公園の維持管理について

山田 直行 議員

ぜひQRコードからご覧ください



現在町内では管理している公園が数箇所ほどあります。特に夏場は綺麗にしている公園と、草木がいっぱい茂っている公園があります。そこで質問します。



富加町シルバー人材センターは、どの様な団体で、何人位人がおられるのか教えて頂きたい。またどの様な内容のお仕事をされているのか、お答えください。



### 【小林 福祉保健課長】

シルバー人材センターは、定年退職者などの高齢者の健康で生きがいのある生活の実現と地域社会の福祉の向上と活性化を図るための団体で、現在登録者は59人です。仕事内容は、町からの委託業務では草刈り、トイレ清掃、施設の受付・夜間管理、広報の差込業務等を行っています。



他の事業者公園の草木の管理をお願いすると、3倍の経費がかかるがそれでも管理をさせて頂きたいと思うがいかがか。また、この値段の違いは何か。



### 【亀山 教育課長】

シルバー人材センターと事業利益の創出を目的とした民間事業者では委託費用にも大きな差が生じます。公園の除草等について民間委託することは、現在のところ考えておりません。



公園の維持管理は、自治会有志による奉仕作業や町から補助を出して対応するなど色々な方法があると思うが、解決策、指針を出して欲しい。有償奉仕、ボランティアがいいと思うがいかがか。



### 【亀山 教育課長】

教育課が所管する公園の除草管理は年4回を基本として実施していますが、来年度から除草回数を増やす方針です。ご提案の自治会有志によるご奉仕や有償ボランティアによる作業は、ケガや事故の発生が懸念されることや草の処分場所の確保が必要なことなどから、個人に依頼することは困難であると思っておりますが、自発的に行って頂くことは大変有難いことと思っております。



答弁の  
想い

農業の町と謳うわが町も生産者の高齢化、気候の変化による農産物の減少など深く考える一面が浮かび上がる状態でしたので、質問させていただきました。

**Q** 今後も町民まつりを続けていきたいかどうか。

**A** 【川崎 産業環境課長】  
町民まつりの存続等については、実行委員会で実施の有無や運営方法等を協議しているため、産業環境課としての意見は申し上げにくいところですが、毎回、大変ご好評を頂いておりますので、今後も継続して頂ければと考えております。

**Q** 町民まつり終了後、反省会などが行われると思いますが、どの様な意見が出店者などからあったのか。

**A** 【川崎 産業環境課長】  
出店者による反省会は行っていませんが、売上報告書に意見や感想を記入できるようになっており、集客に力を入れてほしい、キッチンカーを増やしてもらえないか、飲食を扱う店を増やしたらどうか等の意見がありました。

答弁の  
想い

高齢化社会の問題として、特に空き家の問題を町民の皆様知って頂くと同時に、現状どうであるのか、また町民の皆様はどう対処してほしいのか、町の考えを聞きたいので質問しました。

**Q** わが町の75歳以上の高齢者は、今現在どの位いるのか。人数と町の人数割合で答えて頂きたい。

**A** 【小林 福祉保健課長】  
11月末時点の75歳以上の高齢者の方は、男性423人、女性565人で合計988人となります。町全体の人口は、5,869人ですので割合としましては、16.83%となります。

**Q** 今後、戦後生まれの第一次ベビーブームの人達が高齢者となるが、3年間ほどを目安として町の特別会計の国民健康保険、後期高齢者医療保険、並びに介護保険はどの様になるのか。

**A** 【清水 住民課長】  
国民健康保険は、被保険者数が減少する中、1人あたりの医療費も増加し厳しい財政状況であるため、保険税率を見直す必要があると考えます。  
後期高齢者医療保険は、被保険者数は増加していますが、医療費も増加しています。後期高齢者医療広域連合により2年に一度保険料率等の見直しがあります。

**A** 【小林 福祉保健課長】  
介護保険は、令和6年度から令和8年度までの3年間を計画期間とする事業計画を作成しており、認定者数、給付費ともに増加傾向にあると推計しています。

**Q** 高齢者のオムツに対する支援をお願いしたい。

**A** 【小林 福祉保健課長】  
オムツの補助は、介護保険が施行された当初から町単独事業として実施しています。

**Q** 空き家問題について。

**A** 【山田 建設課長】  
現時点で70戸の空き家があるうち管理が不十分な要観察空き家が48戸を把握しています。空き家をどうするかは各家庭で取り決めて頂くことですが、空き家相談会を年4回開催しており、空き家になる前に管理や相続対策・行政支援の活用など様々なアドバイスを受けることができますので有効活用して頂きたいと考えています。

一問  
一答

令和7年度  
当初予算の編成の基本方針について

木村 康夫 議員  
ぜひQRコードからご覧ください



答弁の  
想い

「令和7年度当初予算が最適に策定されることの経過」を知りたい」というような想いで質問します。

**Q** 令和7年度の予算規模は？前年度と比較して拡大か？縮小か？

**A** 【渡邊 町長】  
予算規模は、物価高騰や賃金上昇などの影響、地方公共団体の基幹業務システムの統一・標準化（標準化システム）への移行経費、公共施設の老朽化対策などの事業により、過去最大の予算であった前年度よりも増大するものと見込んでおります。

**Q** 令和7年度の財源確保の見通しは？依存財源の見込み、自主財源の拡大は策は？

**A** 【渡邊 町長】  
自主財源は、町税が多少増加しているものの全体では大きな変動もなく、例年同様の歳入額の4割程度を見込んでいます。依存財源を含めても財源不足であるため、事業内容を精査しつつ、起債の利用など必要な財源確保に努め、財政調整基金の取崩しを最小限にしていきたいと考えております。

**Q** 令和7年度の予算編成の基本方針は？事務事業の「スクラップ&ビルド」、「選択と集中」の具体策と重点事業は？

**A** 【渡邊 町長】  
予算編成の基本方針は町HPにも掲載しておりますが、令和7年度は第5次総合計画後期計画及び第2次総合戦略の最終年度であるため、引き続き主要な施策を推進しながら、次期計画を見据えて持続可能なまちづくりをさらに発展させていく必要があると考えております。しかしながら、将来的な人口減少や現在の物価高騰などの影響、DX・GXの推進、住民ニーズの多様化など様々な課題が山積しております。そのため、これまでの事務事業を一つ一つ評価し、真に必要な事業、分野に限られた財源を重点的かつ効率的に配分することを基本としております。現時点で予定している重点事業は、令和7年度末までの実施が決まっている基幹業務システムの標準化移行事業等がありますが、3月定例会においてご審議頂くこととなります。

一問  
一答

非正規職員の賃金と謝礼金のアップについて

木村 康夫 議員

答弁の  
想い

デフレ経済に戻らないためにも賃金の上昇は必須である。町政にかかわる人の報酬も上昇が望まれる。正規職員は人事院勧告に追従すると理解しているが、非正規職員の報酬や講師等の謝礼金も物価に合わせた上昇が必要だという想いで質問します。

**Q** 会計年度任用職員などの非正規職員の賃金は物価に合わせて改定が必要と思うが見解は？現状と今後は？

**A** 【川合 総務課長】  
会計年度任用職員については、正規職員とは別に職種ごとに職務内容に応じて給料月額を定めており、令和6年度には昨年的人事院勧告に伴う正規職員の給与改定に合わせて、会計年度任用職員の給料月額を大幅に改定するとともに、新たに勤勉手当の支給を開始するなどの正規職員並みの処遇改善を行ったところです。今後も、非正規職員の報酬等につきましては、その職務内容や人事院勧告の内容、物価上昇や最低賃金等を考慮し、適切に改定を行っていきたくと考えています。

**Q** 町への協力者に対する謝礼金は物価に合わせた改定が必要と思うが見解は？現状と今後は？

**A** 【川合 総務課長】  
各種委員等の報酬額は、非常勤の特別職職員の報酬及び費用弁償に関する条例に定められており、一般職の職員の給料が生活費や民間賃金との均衡を考慮して決定され、かつ、昇給制度があるのに対して、生活給的な要素を考慮しないものと考えられています。しかしながら、今後、報酬額については、他自治体の動向等も踏まえつつ、適正な金額を定めていきたくと考えています。



答弁の  
想い

来年度は小学校の児童用タブレット更新の時期になる。この機会に、タブレット学習のあり方や校内での充電施設などインフラ整備について考えてほしい。また、子どもたちの年代ごとに、子育て世帯の抱える問題は違ってくる。それぞれの年代に応じた問題をタイムリーに捉え、施策に反映させていってほしいという想いで質問をします。

**Q** 来年度、富加小学校のタブレットの更新時期となるが、こういった学習に役立てることを想定して、どのような機能（ソフト、持ち運び機能など）を持たせるのか。

**A** 【坂井 教育長】  
タブレット端末は意欲と能力を引き出すためのツールで、児童の主体的な学びをサポートする習熟度に応じたドリル学習の支援、オンラインでつながるクラウド型授業支援があり、情報や考えを文字だけでなく動画や写真でまとめ、自分の考えを仲間と共有したり比較することで対話的な学びが実現できます。校外学習での肩掛け機能の必要性を指摘されていますが、想定される校外学習での使用頻度を鑑み、必要ないものと学校側と共通理解しております。

**Q** タブレットを毎日持ち帰らせているが、その理由と、学校での充電機能を充実させる予算は組まないのか。

**A** 【坂井 教育長】  
タブレット端末の活用機会の拡充及び家庭学習支援の充実を目的として持ち帰らせています。機器操作方法の習熟や情報活用能力の育成、基礎学力の定着・向上を図るためです。  
また、各家庭の充電器を使用できますので新たな予算の計画はございません。

**Q** 子育て世代の多い地区に「ちびっこ広場」のような公園を創設することはできないか。

**A** 【渡邊 町長】  
現在のところ「ちびっ子広場のような公園の創設」の計画は持っておりませんが、近年、本町の人口は増加傾向にあり、年少人口が増加している状況にあることなどから、こうしたニーズも耳にしておりますので関係部署とも協議しながら検討したいと思います。



**Q** 高校生以上（特に大学生）に対し、町独自の公共交通をつくることはできないか。

**A** 【渡邊 町長】  
公共交通については、これまでの一般質問でも回答しているとおりとありますが、みのかも定住自立圏事業において、今年度アンケート調査を実施し、来年度に基本構想の策定を予定しておりますので、次期総合計画策定に関連して、現在実施しております町のまちづくりアンケート調査の結果も踏まえながら、効果的な公共交通の実現に向けて検討を重ねていきたいと考えております。

**Q** 子どもの年代ごとに抱えている問題は変わる。要望を吸い上げる場をつくる計画はあるか。

**A** 【渡邊 町長】  
町では、「子ども・子育て支援事業計画」に基づいて子ども・子育て支援事業を進めています。計画策定するにあたり、0歳から小学6年生までのお子さんの保護者を対象にアンケート調査を行っています。また、「子ども・子育て会議」を開催し、子育て中の保護者の方として、公募による委員やこども園、小学校、あゆみ教室の保護者代表のご意見を頂いています。それ以外にも、放課後児童クラブ及び児童センター運営委員会、小中学校での学校評価アンケートを実施しております。アンケートの中では要望等の自由意見を伺っており、学校、教育委員会で共有しております。

**Q** 女性が働きやすい環境整備が少子化対策には必須と考えるが、どこに重点を置いて町として来年度予算に反映させていくのか。また、新しい考えはあるか。

**A** 【渡邊 町長】  
ここ数年の転入による乳幼児人口の増加と保護者の就労率増加により、3歳未満児保育のニーズが予想を上回るペースで見込まれるため、そのニーズに対応した施策に係る経費を予算に反映していく予定です。  
具体的には、増築後のこども園の定員と保育士の増員を行い、受け入れ体制を整えること。そして、それに伴

う人件費、こども園の駐車場不足を補うために町有地を利用者の駐車場にする駐車場整備工事費、更に、新たな保育の受け皿確保のための予算を計上していくことを検討しています。



## 一問 公共施設(各公民館・タウンホール・役場・郷土資料館)の 一答 補修・整備について

林 由香里 議員

### 答弁の 想い

各公共施設は「長寿命化」を図っているが、公民館は昭和50年代の建設で老朽化が否めない状況である。利用者の安全面、利便性を考え、適切に予防修繕を行ってほしい。しかし、大規模な修繕となると利用状況との関係も考えなければならない。今後の他の公共施設のあり方も考慮しながら、現在できることを一緒に考えていきたいという想いで質問します。

**Q** 各公民館の老朽化に伴う不備や安全性への不安など、教育課ではどのような問題点を把握しているか。

**A** 【亀山 教育課長】  
東、西、南公民館は建築後40年以上が経過しているため長寿命化の観点からも適時点検等を実施し、修繕、改修などの対策を行っています。特定建築物の法定調査が義務付けられている公民館は3年毎に調査し、建築物や設備等の異常に起因する人身的・経済的な事故、損失の事前防止に努めています。

本年度はこの検査の実施年度にあたりましたので、今月初旬に点検結果の報告を受けました。各施設ともに外壁モルタルやタイルの浮き、ひび割れの他、施設によっては天井の漏水、外階段のひび割れ等、大小さまざまな指摘がありましたが、緊急性の高いものはないものと把握しております。

**Q** 各公民館の利用状況はどうなっているか。

**A** 【渡邊 町長】  
令和5年度実績では、東公民館は体育館246件、和室27件、会議室4件。西公民館は体育館363件、和室21件、会議室1件。南公民館は体育館475件、和室81件、会議室94件、講義室67件です。

**Q** 来年度当初予算においては、どのような予防修繕を考えているか

**A** 【亀山 教育課長】  
公民館については、令和7年度も経常的な修繕費用の予算を要求しておりますが、今回の特定建築物調査により指摘された事項について現在確認や見積を行っているところであり、必要に応じて計画化し、予防修繕費として予算要求したいと考えています。

**Q** 郷土資料館の周りの整備の予算化を考えているか。

**A** 【亀山 教育課長】  
郷土資料館については、平素から周辺の花壇や中庭の整理に半布里文化遺産活用協議会（通称/半布里コミッティ）の皆さまのご協力をいただいております。大変有難く思っています。現在、周辺整備に関する予算は、経常的範囲で行うもののみについて予定しているところですが、郷土資料館を含む周辺の大規模な整備は、令和8年度から2か年で策定予定の夕田墳墓群整備計画の中で十分検討していく必要があると考えております。

**Q** 現在の利用状況・今後の利用状況の予測を鑑みて、統廃合も含めた公民館の在り方についてどう考えているのか。

**A** 【渡邊 町長】  
各公民館は体育系或いは文科系などの活動において多くの方にご利用いただいておりますが、一方で建設当時に求められていたニーズに変化が生じているとも感じています。各施設は耐震等の改修を済ませ町の公共施設等管理計画に基づき維持管理を行っているところです。現時点での統廃合の計画はありませんが、今後についてはニーズの変化も踏まえながら計画的に修繕・改修を行い、できる限り法定耐用年数以上の期間、利用できるよう努めていきたいと考えていますが、先ほども申しましたが、ニーズの変化がありますので、利用者数の急激な減少等がみられましたら、統廃合の検討を始めることは必要であると思っております。

特に東公民館は、その場所が岐阜県指定の「土砂災害警戒区域（一部、同特別警戒区域）」にあたるため、施設の経年とともに、将来的には移設や廃止などについて検討する必要があると考えます。



一問  
一答

新年度予算を考えるにあたり、  
渡邊町長が来年度実現したいこと。

森 利和 議員

ぜひQRコードからご覧ください



答弁の  
想い

来年度予算に町長のやりたいことが反映されなければ、前例踏襲の町政になってしまいます。未来の幸せな富加町のために夢を語って欲しい、その実現のための事業を推進して欲しい。このような想いから質問をします。

Q

渡邊町長が就任して半年が過ぎました。議員経験もあり富加町行政のことは熟知しているはずなのに、いまだに若い町長が未来の富加町のためにやりたい事業が見えてきません。来年度予算を作成するにあたり何をするのか町長の思いをどう予算に入れていくのか、町民は待っています。

A

【渡邊 町長】

私がやりたいと思う事業は、6つの公約の①子育て支援・教育の充実、②高齢者福祉の充実、③災害に強いまちづくり、④対話を重視した政策決定、⑤産業の活性化、⑥文化を生かしたまちづくり、であります。

未来の富加町のために実施したい具体的な事業を挙げるならば、子育て支援では、第2子以降の未満児保育無償化、小学校の給食費無料化、奨学金制度の拡充、高齢者福祉では、高齢者の外出支援の拡充であります。外出支援の拡充は、その先には高齢者のみならず町民の交通手段の拡充施策にもつなげていきたいと思っています。

ただし、私が実施したい事業すべてが来年度の予算に反映できる訳ではないため、優先順位を付けながら、また、事業実施するうえでの環境を整える準備も必要であるため、順次事業化を進めてまいりたいと考えております。

一問  
一答

来年度の町の組織人事

森 利和 議員

答弁の  
想い

渡邊町長の訓示の中に、『町職員にお願いしたいことの1点目が「町民に寄り添う」という姿勢です。』と書いてありました。それを実現できる人事・組織を作りたい。このような想いから質問をします。

Q

6月の町長訓示の中で、町政運営の方向性として3つあげてみえました（予算、組織人事、政策）。そのうちの一つ組織人事についてどうされるのか、板津町長が作られたものをそのままなのか、渡邊町長として組織を再編成されたいのか、人事は町長の独断でできると思います。新年度は新しい人事編成をどのように考えて見えるのか。国でも県でも会社でもトップが変われば人事が変わります。「多様性を重視した人事」とはどのようなものかお聞きしたい。

A

【渡邊 町長】

町長就任時の職員への訓示の中で、「組織の人事について、今現在変更することは考えておらず、今後、組織のスリム化・重点化を行うとともに、多様性を重視した人事を行いたい」と発言をしました。それは今後多様な価値観やニーズ、複雑で高度な行政課題に対応

し、より良い行政サービスを提供するために、多様性豊かでしなやかな公務組織へとの変革が必要であると考えているからです。しかし、町長が変わったからと言って、今すぐに組織の再編成をしなければならないものではありません。まずは、現在の職員を適材適所に配置することが重要であると考えています。「多様性を重視した人材」は、キャリアや経験、働き方といったライフスタイルに関するような要素も「多様性」に含まれると考えますので、様々な経験をした人材がそれぞれの特性を活かしながら働くことで自由な発想が生まれ、「多様性豊かな組織」にすることで、より町民に寄り添える富加町役場にしていきたいと考えています。

また、組織の再編成で、現在の役場内の課の配置変更を考えており、エレベーターのない役場にベビーカーを押した子育て世代の保護者の方が2階にあることも課に行くのは不便なため、教育委員会部局を2階ではなく1階に設置し、町民に寄り添う富加町でありたいと考えております。

**一問一答** 富加関インターチェンジ周辺の特定用途  
制限地域の見直し後の現在について

酒井 一弘 議員  
ぜひQRコードからご覧ください



**答弁の  
想い**

令和5年7月25日富加町西公民館での地元説明会を、再度8月23日と見直し意見交換会を開催した。その経緯があり、地元としては、どこまで進んでいるのか知りたいという想いで質問します。

**Q** 令和6年6月の富加町議会第3回定例会で可決された「富加町特定用途制限地域における建築物等の用途制限に関する条例の一部を改正する条例について」の、その後の進捗状況について報告願います。

**A** 【山田 建設課長】  
今年度、6月の条例改正により、従来からある集落を保全する地区・幹線道路（県道関金山線から富加・関IC周辺）沿いに係る制限地区・工場を建てること

ができる工場立地地区内に、新たに産業振興を図ることを目的とした産業立地地区を設けたところです。ご質問のその後の進捗状況として、当地域での新たな工場等は現在のところありません。特定用途制限地域の目的は、企業を誘致するため、開発を促すためのものではなく、土地利用の方針を定めるものであるため、用途に合った適切な土地利用が、企業の立地・雇用の創出・移住定住に結び付くよう、県道関金山線から富加・関IC周辺という交通の利便性に優れた当該地区の特性を活かせれたらと考えています。

**一問一答** 木曾川水系津保川流域の現況について

酒井 一弘 議員

**答弁の  
想い**

今回の質問は、私が令和5年9月21日の富加町議会一般質問の津保川下流域の工事箇所図に富加町の津保川が表示されていなかったことに疑問を思い、今回取材させて頂きましたことを質問します。

**Q** 津保川流域の現況を取材しましたが補足情報、事業の違い、補助金の負担割合を示してください。岐阜県からは合計228,004,700円の工事費が投下されています。

**A** 【山田 建設課長】  
河川管理者である岐阜県により発注されており、防災・安全交付金（総合流域防災事業）が補助率1/2で水位上昇の影響を解消させるために河道掘削を実施して頂きました。河川災害復旧事業は、補助率90%で、令和5年度の降雨・洪水により護岸が崩れたことによる災害復旧工事が現在行われています。両工事については町が応分を負担するといった性質の工事ではありません。

**Q** 現在進行している高畑の工事について、地域住民に広報されていますか。

**A** 【山田 建設課長】  
現在、高畑地内で行われている津保川の河川災害復旧工事は、県からの依頼により、自治会長を通して住民に「工事のお知らせ」として回覧しました。お知らせには、施工場所、施工期間、施工内容等が記されており、それにより自治会住民への広報としています。

**Q** これらの情報を町民に知らしめてください。

**A** 【山田 建設課長】  
工事を行う近隣自治会には、交通規制や工事車両の通行等により工事の影響があることから周知を図っていますが、通常、県施工に限らず町施工の工事についても、全ての町内住民に対し「工事のお知らせ」を回覧することは行っていません。付近を通行される方には工事看板にて周知しています。「工事のお知らせ」は関係する地域限定での周知となりますが、事業の趣旨や規模・発注額については県のホームページでご確認頂きたいと思います。





## 未満児保育について

井戸 亨 議員

ぜひQRコードからご覧ください



### 答弁の 想い

前回の質問から5年経ちましたが、昔から町に住んでいる方、新たに移住した方ともに、これから子育てしようという方達は共働きの方が多いです。未満児保育の重要性が増しているため質問します。

**Q** 未満児保育について渡邊町長はどのように考えてお見えなのか、お聞きします。

**A** 【渡邊 町長】  
年度途中で全ての保育に欠ける子どもを受け入れることができませんが、3歳未満児について、とみかこども園では可能な限り受け付けを行いたいと思いますし、現在も受け付けを行っているところです。

**Q** 現在4歳5歳6歳の保育料は無料であります。しかし、未満児保育料は有料であります。今後これをどのようにされるのか、お考えをお聞きします。

**A** 【渡邊 町長】  
町内でこども園等を利用されていない3歳未満児の人数は、利用されている人数を上回っているため、利用されていない世帯では、保育料にかかる様々な恩恵を受けることはありません。そういった不公平感をなくすためにも3歳未満児保育料の無償化の前に、3歳未満児保育を希望するお子さんを受け入れることができる体制を作ることが先であると考えます。

**Q** 令和8年度から国で「こども誰でも通園制度」が始まります。これを受けて保護者、そして保育士の負担軽減のための町の施策をお聞きします。

**A** 【野村 こども課長】  
「こども誰でも通園制度」は、今の段階でお伝え出来ることは限られますが、制度を利用して頂くこと自体が、保護者の負担軽減につながると考えます。  
また、保育士については、この制度を行う施設で働く保育士を新たに雇う予定ですので、今働いている保育士の負担はないと考えています。



## 道の駅指定管理者について

井戸 亨 議員

### 答弁の 想い

管理者を決めるにあたり、決め手となった「自主事業を積極的に推進する。」とは何かという想いで質問します。

**Q** 今回の12月議会に上程議案「道の駅指定管理者」を承認した場合、管理者はパブリック・グローバリゼーション(株)に決まります。そこでお聞きします。プレゼンテーションのなかで「自主事業を積極的に推進する。」とあります。具体的な提案をお聞きします。

**A** 【川崎 産業環境課長】  
道の駅の指定管理者の選定は、申請者のプレゼンテーションと書類審査によります。自主事業の提案で、愛菜会の収穫祭やビアガーデンを継続しつつ、マルシェの開催、地元農産物を使ったお惣菜などを販売するフードフェスティバル、お菓子づくり教室や家庭園芸を楽しむきっかけづくりの場となるエンジョイガーデニング教室の開催などの提案がありました。



答弁の  
思い

何回目の質問になるかは分かりませんが、温暖化は地球規模で非常に問題になっており、小学校に限らず体育館には空調を入れて頂きたいです。夏場、運動ができないため、子どもたちの体力低下が否めません。このような思いから質問をします。

Q

前板津町長に何度も提案させて頂いた体育館エアコン設置ですが、温暖化はますます激しくなっています。子どもの熱中症対策、そして災害時の避難所としてもエアコン設置は必要不可欠なものです。

これについて渡邊町長のお考えをお聞きします。



A

【渡邊 町長】

体育館の空調整備は、遊びや運動場所の確保、有事の際には避難所の役割も担うことから、導入の必要性を認識しております。しかしながら、多額の予算確保が伴う他、効率的な冷暖房を行うために必要な断熱性能の確保や電気容量の増設、ランニングコストを考慮した運用ルールづくり等、多くの課題があります。保護者を中心に町民の皆さまからも体育館に空調整備を望む声があることも承知しており、できるだけ早期に課題について協議を重ねながら、更なる調査研究を進め、避難所機能の充実とともに、よりよい教育環境の創出に努めていきたいと考えています。

編集後記

新年あけましておめでとうございます。

日頃より、議会活動にご理解とご協力をいただきお礼を申し上げます。

昨年は、町長に渡邊圭太氏を、議会議員補欠選挙で木村康夫氏を迎え、陣容を整え船出しました。

令和6年10月6日に富加町誕生70周年記念式典が開催され、厳粛な式典が開催されました。70周年と申しますと、昭和29年から令和6年の間、この間の町行政は、沢山の課題を町執行部と町議会で決議事項を判断しながら70周年を迎えることが出来たと思います。沢山の皆様に感謝いたします。次回の式典に繋げるべき責任を自覚して議会活動を行いますので、期待してください。

令和6年11月16日、17日の両日、第45回富加町民まつりが開催されました。

給与所得者に対する、年収の壁問題が議論されています。これは、基礎控除等の見直しにより所得税や住民税、健康保険料等に影響があるものです。長年の課題である扶養親族の控除についても、適切な額が提示されればと思います。

令和6年11月より「風の時代」に突入しました。これは、個性を表現することに価値が置かれる時代になるという事になります。

私達は、住みよい富加町を目指して活動を行います。これを実現する為に私達、議会議員は、町民皆様の意見をお聞かせいただき、議員としての判断に基づいて、住みやすい富加町を目指して活動を行っていきます。どうか、町民皆様の応援を富加町議会議員に送ってください。

(文責 酒井 一弘)

議会広報委員会 委員/酒井 一弘・森 利和

＼ 町民のみなさん /

町議会を傍聴してみませんか？



富加町マスコット  
キャラクター  
とみぼん

次回定例会は3月に開催

本会議当日は、役場1階ロビーでライブ中継を視聴できます。

詳しくは、議会事務局までお問い合わせください。

# 開かれた議会を目指して

議会が住民の方々と近いところに在ること、町民の皆様の代表者であること、そんな想いで私たちは活動しています。



議長 佐曾利 敏

道の駅の指定管理者が指定されました。レストランは好評ですが、気候の変動などで道の駅で販売する農産物が不足する状況の解消や特産物の充実を図るために商品開発を行うなど、新しい経営体制に期待します。



副議長 福田 定道

今、全国各地で文化財(古墳等)の整備が行われています。文化財を整備し、価値等を高めることによって地域の歴史に関する理解が生まれていると思います。町でも文化財の整備に取り組んでいます。文教厚生常任委員会でも奈良県に行き、今後の活動に活かせるよう視察をしてきました。これからも町の文化財の整備に尽力していきますので、是非、町民の皆様方も関心をもって頂けると幸いです。



林 由香里

文教厚生常任委員長としての大仕事、夕田墳墓群の国指定後の町全体の歴史的文化財整備の参考になる視察研修を実施しました。詳細は議会のホームページにあります。長い文章で恐縮ですが、それだけの成果が得られたことをご理解頂けたらと思います。



森 利和

国史跡に指定された夕田墳墓群の保存と活用方法を学ぶために、文教厚生常任委員会で奈良県に視察に行ってきました。奈良県の研究者の方から夕田墳墓群の重要性を教えて頂き、改めて我が町の重要な財産に気付かされ、町民の皆様にも是非このことを知って頂きたく広報していきたいと思っています。



酒井 一弘

年収の壁について(給与所得者)  
1.103万円所得税(扶養控除)に関連  
2.106万円社会保険加入に関連  
3.130万円社会保険の扶養から外れる  
4.100万円住民税に関連  
壁は、幾重にも壁で崖にもなります。情報を取り入れてください。



山田 直行

全世代が住み良い町づくりを目指し、特に医療・介護・保育の底上げを推し進めます。住民の総意を尊重し、安心な地域づくり、そして、この町に住み続けられる、将来のふるさとづくりを目指します。



木村 康夫

トランプ復活で国際政治は予測不可。自民党衆院選で敗退、少数与党で内政不安定。兵庫県知事再選でマスコミとSNSの世論影響力の逆転。1月の岐阜県新知事誕生。私の注目点。政治の節目が到来している。  
当町にどのような影響があるのか、町長の舵取りに注目します。



井戸 亨

議長に一般質問を提出してから気付いたことがありました。5年前のタイトルと同じでした。しかし、5年でこども園に通っている人数、特に未満児の子ども達が大変増えました。また、町長も代わり、お考えを聞きたく今回に至りました。  
私の質問を通して町民の皆さんに町長の子育てに対する基本姿勢を示してもらいました。

とみかのぎかい | 2025.2.1 No.196

編集/議会広報委員会 発行/岐阜県富加町議会

富加町議会 議会事務局

〒501-3392 岐阜県加茂郡富加町滝田1511  
TEL 0574-54-2161 FAX 0574-54-2461

URL <https://www.town.tomika.gifu.jp/chosei/gikai/>

